

### この時期の発達過程

その場で跳んだり、重いものを持とうとしたり、ボールを投げたり蹴ったりなど、運動面もますます発達していきます。小走りも出来るようになるので、「ヨーイドン！」や「待て待て～」など声掛けをしたりして、子どもが楽しみながら積極的に身体を動かす機会を作ってあげたいですね。

指先も器用になるので、お手伝いも興味のあることは色々とやらせてあげましょう。

キャベツやレタスをちぎったり、きのこをほぐしたり。1歳児でも出来る事はたくさんあります。食材に実際に触れながら「キャベツ、重いね」「きのこ、いいにおいだね」など語りかけることも言葉の発達を促すことにも効果的です。また、最近はご家庭などではあまり見かけなくなってしまいましたが、公園などの水道の蛇口に興味を持ち、ひねって回そうとしたり、ドアノブを回そうとする動きが見られるのもこの時期かもしれません。手首を自由に『ひねる』という動きをやってみたいのかもしれません。

最近は便利な物が増えてきて、蛇口をひねらなくても水が出てくるようになりましたが、手首の柔軟性を育てるという意味でも手首をひねったり回したりする動きは大切です。お子さんが興味を持ちだしたら遊びの中に取り入れながら家庭でも気軽に『ひねる』という動きをやらせてあげても良いですね。

例えば蓋つきの空き瓶や容器などを用意し、手首を回して容器の蓋を開閉するという遊びもあります。

ママがいつも使っている化粧水ボトルの容器の蓋やハンドクリームの容器の蓋などに興味を示し、ちょっと目を離した隙に化粧品の蓋をあけられてイタズラされていた！なんて事はよくありがちなエピソードかもしれません。

容器の蓋は、固いとまだ難しいので、あまり力を入れなくてもひねると開くくらいが丁度良いです。

### この時期のお悩み

「ワンワン きた」「バナナ あった」など、二語文が出てくるお子さんもいる一方で、なかなか単語が増えずに周りのお友達と比べてしまい、「うちの子少し言葉が遅いのかしら？」と心配してしまう親御さんもいらっしゃるかもしれません。

しかし運動の発達もそうですが、言葉の発達も個人差がとても大きいです。あまり心配し過ぎる必要はありません。お子さんのペースを尊重しておおらかに見守ってあげましょう。

とは言え、やはり言葉が育つ環境はとても大切です。言葉が育つ環境とは、語りかけられる言葉が豊富にある環境です。

3歳までのお子さんは無意識なレベルで、語りかけられるたくさんの言葉を自分のタンクの中いっぱいに溜め込んでいます。

タンクの中にたくさんの言葉を吸収しながら溜め込み一定量まで溜まつくると、今度はそれをアウトプットしようとしてドバーっと溢れ出す「単語の爆発期」と呼ばれる時期が訪れます。

まだアウトプットをなかなかしない、というお子さんは、もしかしたらタンクのサイズが大きいのかもしれません。そのうちタンクからたくさんの言葉がドバーっと溢れ出す時期が来ますので、今は溜め込んでいる時期なのだとと思ってたくさんの言葉のシャワーをかけてあげましょう。

テレビの音ではなく、やはり生の肉声が一番です。子どもは語りかけられる時に単に言葉だけでなく、相手の声色や話し方のトーンなどから感情を感じ取ったり、関わり方なども学んでいます。また、何でもそのまま吸収してしまいますので、大人は正しい日本語で(赤ちゃん言葉などではなく)美しい言葉をたくさん聞かせてあげましょう。

音感も育っていくので、たくさんの歌を歌ってあげながら、一緒に楽しめたら良いですね。

井上エリ

子どもの心の根っこを育むcocorone主催。  
アドラー心理学とモンテッソーリ教育を活かした子育て講座をオンラインで開催中。  
また、自身の保育士経験も活かしながら保育士向けの研修も行っています。  
アドラー・勇気づけ講師、モンテッソーリ教師、8歳と1歳の女の子と男の子のママ。  
インスタグラム、ブログも更新中。



STAGE9  
(1歳8ヶ月～  
1歳10ヶ月)



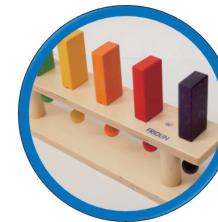
保育園がつくる  
子育てサブスクリプション

パッケージ紹介

1

## ストレートドミノ小 (フリードリン社)

本体板の下にぶら下がった木の玉を掴んで「ギュッ」と引っ張ると、板の上のドミノがぴょこんと立ち上がります。そーっと手を離して、そのまた隣の木の玉を・・・大人は良く知るドミノの遊びですが、大人でも「なるほど～」っと感嘆の声が上がります。「ひも」のつながりが上下のつながり、つまり「因果関係」を、自分手が起こしたアクションから体験できるのです。床の上よりも机の上で遊ぶほうが、その上下の関係が直横から見て取れるので余計に面白いですよ。指一本出して～、チュンっと突いてごらん！？カタカタカタカタ～



2

## ハバブロックス コーブルク (ハバ社)

南ドイツの美しい街、コーブルクをイメージした積み木です。積木には基準の尺度となる「基尺」がありますが、こちらの積み木は基尺は4cm。基本の積み木よりは脚色されているので街の雰囲気など表現しやすいですね。同じパッケージ内のジーナファームと合わせて使うとお話の世界がぐっと広がります。お話を言ってもまだまだ単純な内容です。内側と外側の世界・・・“いってきます”と“おかえりなさい”的繰り返しだけでも、自分の経験のある事の再現が出来ることが分かると、繰り返し「もう一回やろう！」とねだってくるかもしれませんよ。



3

## ジーナファーム (ジーナ社)

家族(人)や動物、木などをシルエットのように切り出した積み木です。表情を自分で想像できるように、顔などはあえて描いてありません。動物は農場系の身近なもので、できれば私たちの日常生活と直接につながっていることを幼いなりに知っていく機会となれば嬉しいですね。「馬は力持ちで助かるね」「ニワトリさんはコケコッコーって朝、早起きしてみんなを起こしてくれるんだよ」。まだ見たこともない動物も含まれるでしょうが、本物を見る機会が来た時には「前にパパがお話ししてくれたニワトリだ！」と、思い出して、より身近に感じてくれることでしょう。

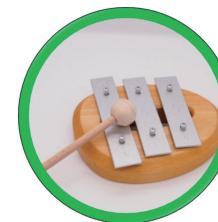


4

## デコアの鉄琴 (デコア社)

澄んだ正確な音色が人気のドイツ・デコア社から、手のひらサイズの小さな鉄琴と出会ってみてください。小さくても音は本物！音階はド・ミ・ソの3音だけ。付属のマレット（バチ）は木玉部分にゴムが巻かれているので、奏てる音が柔らかいのです。絵本を読んでいる時に効果音としても盛り上がりますよ。

【注：マレットを口に入れることのないようにご注意ください。遊ぶ時は必ず大人が傍で見守って安全にお使いください。】



5

## ノブ付きパズル・ハバトイズ (ハバ社)

5

子どもたちの大好きなおもちゃのデザインがいっぱい！ステージ8ではノブ付きのピースを外すと、下に同じ絵が描かれていました。が、少しだけステップUP! 今度は下に絵が描かれていません。形を頼りに、そして「たしかこの辺にお人形が座っていたよなあ」という記憶や、ママからのヒントを聴いてはめることを楽しんでいきます。もちろん、パズル遊びは個人的な好みの差も大きいので「やらせなければ！」と親が躍起になる必要はありません。1つだけでも興味あるものをはめることが出来たら、それでも十分ですよ。



絵本

## おばけのアイスクリームやさん



おばけのぼんちゃんはもりでアイスクリームやさんをしています。ねこちゃんに会ったら「ねこちゃんアイス」、うさぎちゃんに会ったら「うさぎちゃんアイス」、ふたごのはとさんにはとさんには「ふたごちゃんアイス」。もちろんみんな大喜び。動物が繰り返し使う言葉「ちょうどいい」を覚えておやつの時間やおもちゃがほしいときに口にするようになることでしょう。

擬音語とみんな大好きなアイスクリームの楽しい絵本です。

絵本

## たいこ



トントントントン トントントントン、誰かがたいこをたたいています。「なかまにいれて」仲間がひとり増えました。トントンポコポコ トントンポコポコ、ふたりでたいこをたたいていると、「なかまにいれて」またひとりやってきました。トントンポコポコベタベタ トントンポコポコベタベタ……さあ、次は？たいこのリズムにのって、大勢で盛り上がること間違いなしの絵本です。

うた

## わらべうた

YouTube このトイchで紹介しております。  
QRコードからご確認ください。

